

## 担い手づくり部門（ア）

奈良県宇陀市 有限会社山口農園  
（代表取締役：山口 やまぐち 貴義 たかよし 氏）



- 作付面積：22.3ha（ミズナ3.8ha、コマツナ3.8ha、ほうれんそう4.2ha、その他軟弱野菜等10.5ha）

（注）数字は平成29年9月～平成30年8月当時のもの

## 経営展開のポイント

- ・ 県北東部の中山間地において、栽培期間の短い葉物栽培に絞った有機野菜を生産する平成17年設立の農業法人で、ハウス165棟による大規模経営を展開。分業制の導入、社内の意思決定・情報共有の仕組みを整備し、組織的な経営体制を構築。
- ・ 新規就農者の育成システムとして、県からの委託により公共職業訓練学校「オーガニックスクールNARA」を運営。農業現場で通用する人材育成を目標に、基礎知識の習得、調整作業や販売実証等の実技を6カ月コースで約700時間の訓練を実施。
- ・ スクール終了後、就農にあたり山口農園グループへの加入希望者には、国の事業を活用して最長2年間の研修を受けさせ、有機JAS認証を取得させるなどハイレベルな内容の知識や技術の習得を推進。
- ・ 職業訓練時からのキャリアカウンセリングの実施による就農に際してのミスマッチ防止、独立時を考慮した優良農地の積極的な確保、就農時から有機JASとしての出荷が可能なサポート体制の構築などにより、これまでに9名が山口農園グループ員として独立。
- ・ 高齢化・過疎化が進む市内2地区の人・農地プランの中心経営体に位置付けられており、地域の有力な担い手として、地域の耕作放棄地の借入など地域の農地維持にも貢献。